

ゼミ活動報告 「平成 29 年度冬合宿 in 城崎」

小松 千織

2月18日、19日に冬合宿を行いました。先生、5、6、7期の三学年という大所帯でバスを貸し切り、向かったのは城崎温泉です。冬の城崎は、木造建築の屋根の上や道の脇に雪が積もっていて、とても風情のある町並みでした。特に雪にはしゃいでいたのが、7期生のとりちゃんでした。何度も雪に突っ込んでいていたのが印象的でしたね。普段のゼ



ミではなかなか見られないゼミ生の新たな一面を知れるのは合宿の醍醐味だと思います。

歩いている人たちは浴衣に下駄という温泉スタイルが多く、わたしたちも大方は温泉スタイルに着替えて外湯巡りをしました。外湯巡りは下駄のカランカランという音を鳴らしているだけでもなんだか楽しくなりました。私は、二日間を通して3つの温泉に入りました。木のぬくもりの感じる温泉や、雪の残っている露天風呂など、それぞれの温泉に魅力があって、また機会があれば7湯全制覇したいですね！

温泉では日々の疲れを癒やし、宿でこれ以上ないくらいのカニをお腹いっぱい食べ、5・7期生 ER によるゲームを通して親睦を深めました。そして、この合宿では遊ぶだけではなく、いつものゼミとは一風変わった2つの特別ゼミも行われました。「就活セッション」と「声と体による表現力のエチュード」です。

「就活セッション」は、春から本格的な就活を控えた6期生は特に気になっていました。でも6期生だけでなく、まだまだこれからゼミも始まったばかりな7期生、春から実際に社会に出て行く5期生にとっても有意義な時間となったと思います。このセッションはこれまで先生がいろんな場面で就活に関する事でわたしたちに伝えてくださったことの集大成のように感じました。結局「本当の自分」は存在しないこと、きっかけはインスピレーションだということ、企業との対話を通して相手の記憶に残るかどうかの大事であること。就活セッションで「なにを話すか」に触れた一方、「声と体による表現力のエチュード」では「実際にどのように話すか」を教わりました。声や体を使って楽しく、自分がどのような表現をしているのかを知り豊かな表現力を学ん



だ時間でした。ハミングや声出しを通じて、自分が体のどこを使って声を発しているかを知り、普段使っていないところを使えば声の可能性が広がることを学びました。また、体の力を抜いて前後左右に寄りかかってみたり、相手の動きをただひたすら真似てみたりして普段やらないような動きも体験しました。やはり、皆で声出しをしたり、体を動か



すのは楽しいですね。このいつもと違った特別ゼミで、皆で円になってハミングをしている姿は、はたから見れば合唱部の稽古姿、体を使ったゲームをしている姿は今思い出しても非常に滑稽なものだったと思います。ゼミをしているとは思えないような時間でしたが、自分や皆の表現を知り、これから社会に出て行く中で相手の心に届く話し方・姿勢について考える良い機会となりました。何より、皆とても楽しんでいるようでした。

最後に、今回の冬合宿を通して PA には感心しっぱなしでした。企業分析の合間にも、より私たちの希望にそえられる合宿にするために PA で話し合ってくれたからこそ、とても楽しい合宿を過ごせました。合宿中も、皆が楽しんでいる間も気持ちを切り替えてより進行がスムーズに進むように動いている 6 期生 PA の姿がわたしは誇らしかったです。お疲れ様！